

(様式第13号)

大阪市地域公共人材 派遣報告シート

■事務局記入 ■人材記入

| | | | | |
|-------------|---|--|------------------------|---------------------------|
| 派遣通知（団体）No. | 派遣人材名 上：登録no 中：派遣通知no 下：名前 | 13-037 | 14-010 | 21-001 |
| | | 林 久善 | 金 志煥 | 栗田 佳典 |
| 派遣先（名称） | NPO法人輪母ネットワーク | | | |
| 派遣計画書の内容 | 初回ヒアリング | 2024年9月5日 | 3回次 | 課題・問題点（活動について考える） |
| | 1回次 ビジョンの共有 | | 4回次 | 方法・手段（組織ハードから） |
| | 2回次 ミッションあるべき姿を描く | | 5回次 | 方法・手段（ソフトから） |
| 派遣回次 | 3回次 | 派遣日時 | 2025年1月16日 13:30～15:10 | |
| 参加者 | 地域 4名 | 人材 事務局 3名 2名 | 区役所 まちセン | 名 名 その他 () 名 |
| 活動内容 | ●派遣依頼内容 団体の組織運営などについて改めて総合的に見直し、運営計画をつくりたい。 ・法人格(認定NPOへの移行)、資金計画(寄付型団体をめざしての資金計画と会計処理の総合的な見直し)、事務スタッフ(将来的な雇用) など | | | |
| | ●支援内容・プログラム 前回話し合った団体のミッション（使命・目的）や団体のあるべき姿（ビジョン：中長期的目標）の意見交換を踏まえて、お母さんの居場所、生きづらさがある方の居場所＆社会の入り口、事業と事務作業との仕分けなどを協議する。 | | | |
| | ●成果 団体の活動に関わるステークホルダーについてホワイトボードを使用して全体像を取りまとめた。これにより会員、地域やNPOのつながり、支援・助成金の関係を共有し、あらためて団体のコアの活動である居場所についての意見交換ができた。また、コア業務とノンコア業務の仕分けと優先順位、事務員の雇用の要否など団体内の意見交換が必要であることも確認できた。 | | | |
| | ●今後の予定 第4回目の派遣では、人材から外注の具体例を出して人を雇うための準備、具体的な手続きを検討する。また認定を取るなら会計監査できる監事が必要との認識であるが、専門家の活用の要否を深掘りする。さらに、これらの項目を取りまとめた上で、今後の事業計画の方向性を検討する。 | | | |
| 所感 | 登録no. 名前 | 所感 | | |
| | | 団体のAさんのリードにより組織運営及び活動の企画・実施ができている状態である。コアメンバーとのこれからの方針性は、障がい児の親の居場所といったことであり、新たな活動への賛同までは得られていない。そのギャップを当事者間で埋めるための選択肢を提示できるように進めたい。 | | |
| | | 団体の活動に関わるステークホルダーについて全体像を概ね把握できたので、あらためて団体の課題を理解することができた。今後はコアメンバーにおいて団体が向かう方向性と役割分担をどこまで共有できるかが鍵となるものと考える。 | | |
| | 組織の目指すべき未来には一定の賛同があるものの、継続を考えるうえでの「変化」について団体内に意識の違いを感じる。その意識の違いを埋めるためにも人の雇用に関して、外注に関してなどまずは協議を深めるための前提知識、情報があるとよいと感じた。次回はより建設的な協議ができるよう、情報提供をしていきたい。 | | | |